

がん感染症疾病対策課感染症対策係
 担当 中山 長藤
 直通：092-643-3597
 内線：3066

福岡県感染症発生動向調査感染症週報

令和6年第45週（令和6年11月4日～令和6年11月10日）

福岡県感染症情報センター

■ コメント

- 第45週は、昨年の県内1例目に続く2例目のエムポックスの報告がありました。本疾患は、エムポックスウイルスによる感染症で、通常7～14日の潜伏期間の後、発熱、頭痛、リンパ節の腫れ等の症状が0～5日続き、発熱の1～3日後に発疹が出現します。発疹は、水ぶくれ・のう胞・かさぶた（痂皮）へと変化します。多くの場合、発症から2～4週間症状が持続した後、自然に回復しますが、稀に重症化することがあります。感染した人や動物の皮膚の病変、体液、血液に触れた場合（性的接触を含む）、患者と近くで対面して長時間の飛まつにさらされた場合、患者が使用した寝具等に触れた場合等に感染します。疑わしい症状がある場合は、身近な医療機関に相談の上、マスクの着用や発疹部位をガーゼで覆う等の対策をして受診してください。また、海外での発生報告もありますので、帰国後に体調異常のある方は、渡航歴等を医師に伝えてください。
- 福岡県感染症情報ホームページ(https://www.fihs.pref.fukuoka.jp/~idsc_fukuoka/)では、感染症発生情報、病原体検出情報などをご覧になれます。

■ 全数把握疾患報告

病名	福岡県		全国（前週）	
	報告数	累積報告数	報告数	累積報告数
結核	13	763	388	13,283
腸管出血性大腸菌感染症	8	154	81	3,284
エムポックス	1	1	0	18
レプトスピラ症	1	2	0	44
カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	3	120	33	1,861
侵襲性肺炎球菌感染症	1	86	31	1,984
梅毒	10	741	165	12,293
百日咳	3	134	120	2,658

■ 定点把握疾患報告数

警報レベル

注意報レベル

病名	福岡県			全国（前週）	
	報告数	定点当たり	前週比	報告数	定点当たり
新型コロナウイルス感染症	123	0.62	0.82	7,752	1.57
インフルエンザ	389	1.96	1.41	5,127	1.04
RSウイルス感染症	20	0.17	0.95	822	0.26
咽頭結膜熱	29	0.24	1.04	787	0.25
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	423	3.53	0.75	5,967	1.91
感染性胃腸炎	398	3.32	0.92	8,706	2.78
水痘	65	0.54	1.63	507	0.16
手足口病（警報レベル）	790	6.58	0.78	24,094	7.70
伝染性紅斑	18	0.15	1.80	1,154	0.37
突発性発しん	50	0.42	1.00	795	0.25
ヘルパンギーナ	24	0.20	0.63	590	0.19
流行性耳下腺炎	7	0.06	1.17	124	0.04
急性出血性結膜炎	0	0.00	-	5	0.01
流行性角結膜炎	11	0.42	0.55	340	0.49
細菌性髄膜炎	1	0.07	-	11	0.02
無菌性髄膜炎	0	0.00	0.00	20	0.04
マイコプラズマ肺炎	51	3.40	1.34	1,183	2.46
クラミジア肺炎	0	0.00	0.00	4	0.01
感染性胃腸炎（ロタウイルス）	0	0.00	-	2	0.00

※新型コロナウイルス感染症について、現在、警報・注意報の基準値は設定されていません。